

4. 予測結果

津波が到達する時間、津波の最高水位、最高水位が到達する時間、および浸水面積について予測した結果を図 5-4-1～図 5-4-3 に示す。左図の津波高分布図には、市町村内で津波が最も早く到達する地点に丸印を付けている。また、予想浸水域分布図を図 5-4-4～図 5-4-6 に示す。これらの予想浸水域分布図には、拡大した浸水域分布図を例として示している。この拡大した浸水域分布図は、2万5千分の1の地形図上に浸水域分布を重ねて示しており、宮城県沿岸全域を74地域に分割して作成している。

①宮城県沖地震（単独）

津波の最高水位は、全域でほぼ2m未満である。波源域に近い宮城県中部から北部では津波が到達する時間がはやく、20分以内である。浸水面積は鳴瀬町、気仙沼市で大きく、2km²以上と予想される。

②宮城県沖地震（連動）

津波の最高水位は宮城県北部ほど高く、本吉町で最大約10mである。浸水面積は鳴瀬町、石巻市、河北町、気仙沼市で大きく、3km²以上と予想される。

③昭和三陸地震

津波の最高水位は宮城県北部ほど高くなっている。宮城県沖地震に比べ波源域が遠いため、津波が到達する時間は全域で30分以上である。浸水面積は亙理町、山元町、気仙沼市で大きく、4km²以上と予想される。